

団体名：マロニエの森の会

活動名：自然環境保護・青少年育成活動

代表者 / 齊藤 亘さいとう わたる

所在地 / 山口市宮野上3403 (杉山方)

活動紹介

活動の目的

落葉広葉樹を植え育て、地力のある山を作るために頑張っています。合い言葉は、「自分の水や空気は自分で作ろう!」、「地球よ、元気になれ!」です。

自然を主体に考え、人間が自然にどれだけ溶け込めて共生ができるかと考えての山づくりを目指しています。

これまでの活動の様子 (内容)

平成8年、「マロニエの森の会」を設立。翌年には、より良い自然環境の継承を願って「マロニエジュニア」を結成しました。平成12年までに、木戸山公園の周辺に、マロニエ、こぶし、ほうの木などを植え、現在、1,100本程元気に育っています。下草刈り、清掃や巣箱かけは、毎年恒例の行事となっています。

平成13年には、会員の山の手入れと植林、また炭窯づくりにも挑戦しました。

平成15年は転機之年となりました。維持できなくなった土地の管理を地主から依頼され、マロニエの活動拠点づくりのスタートです。田畑を整備し、旧鶏舎は自然体験施設「森の夢」として、平成17年に生まれ変わりました。

平成18年3月には、裏山の竹林を整備して、「100歳になったら錦帯橋に行くんだよ」と木にも目標を持たせ、ケヤキを100本植えました。間に植えた1,000本のコナラと競い合い、立派に育つことを願っています。また、「森の夢」でのジュニア対象のキャンプも大人気です。竹で食器を作り、山に登ったり、畑で泥んこになったら川で遊び、自分たちで作ったベッドに蚊帳を吊って寝ます。このキャンプでの楽しい体験が、自然環境に関心を持つきっかけになればいいと思っています。

活動の展望

これからも、本当に必要な山づくり、里山づくりを地道に続けていきたいと思っています。また、この活動がしっかり根付き、その輪が広がるように、外に向かって発信し続け、そして、次の世代にバトンタッチできるように人づくりをしていくことが大切だと思っています。

自然とふれあう場を提供し、何かを見つけて帰れるように、もっと動物として物事を考え、学ぶ空間として、「森の夢」の山を含めた広大な土地をどのようにしようかと夢は膨らみます。しかし、維持管理の大変さは想像以上です。イベント的な行事だけでなく、普段の作業への参加者をいかに増やすか、今後の大きな課題でもあります。



【植樹をした山に会の標識を立てる】



【ごみ拾いの後の楽しいピザタイム (木戸山公園)】